体育館の水銀灯交換は
オートリフターの活用が重要

【コストを安く、LED照明に交換する方法】

水俣条約の関係で、水銀灯の生産が中止になります。

学校で使用している照明は今後、生産中止になっていきます！

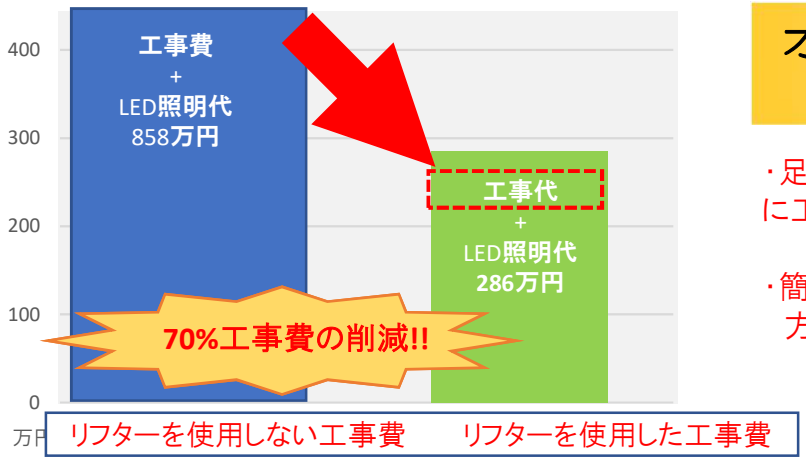
東芝	2017年3月 蛍光灯器具・HID 器具及び一部の安定器の生産を終了 特殊電球 全品番、ハロゲン電球 62品番、 蛍光ランプ 166品番、HIDランプ 186品番を生産終了
Panasonic	2019年3月 蛍光灯器具生産から完全撤退 2020年6月末水銀灯生産中止
NEC 三菱	2018年3月 蛍光灯器具の生産を終了⇒ホタルクスへ買収 三菱は管球・コンパクト管の生産2021年3月終了

体育館で使用している水銀灯は、オートリフター付きの水銀灯です。

オートリフターを活用して、
LED照明へ交換が可能！

オートリフターを活用して、
工事費を安く抑える！

オートリフターを活用したLED照明への交換工事の比較



オートリフターを活用して、LED化！
７０％の工事コスト削減

・足場を組むと非常に工事代がかかります。

・簡易的にLEDへ交換する方法があります。

オートリフターを活用した場合

交換工事が、手元で簡単に出来る！

夜間工事で、昼間は体育館が使用可能！
リフターを下げて、交換工事を行う為、昼間は体育館が使用出来ます。

足場を組む必要がないため、工事期間中も体育館が使用出来る！

交換工事費が非常に安く出来る！
足場を組む必要もないため、交換の工事費がかなり安く出来ます。

万が一の時に、オートリフターが使用出来るので非常に安心！
長期間使用後の交換工事も、安心！。

オートリフターを活用しない工事の場合

天井での交換の為、工事が高い！
足場を組んで、取替の工事を行うため、工事費が非常に高くなる。

工事期間中、体育館が使用不可！

体育館で部活の活動も出来ない！
部活などの活動に影響が出ます。

万が一の時に、オートリフターが使用出来ない。
万が一LEDが故障した場合、交換工事が非常に高くなる。

機能が使えなくなるデメリット

オートリフターを活用して、LED化する流れ

現場調査
プロが直接照明の品番などを確認して、オートリフターの状況を把握します

器具に合う仕様
既存のオートリフターなどが分かることで、それに適応する取付金具を加工して、作ります。

オートリフターへの取付確認

交換工事
短期間で交換

LED化完了
オートリフターは使用可能

なぜ、オートリフターを活用して、LED化が出来るのか？

2009年1月から全国の官公庁約300カ所に導入
LED照明の開発・製造・販売
新潟県庁は80,000時間の点灯実績

リースも対応可能

様々な現場に合わせたカスタム対応可能

日本製LED照明の安心感と信頼
東京都中央区銀座8-19-3
株式会社サンエスオプテック.